

前橋市障害福祉計画 訪問系サービス(種別ごと) 実績値の推移(H27～)

資料

項目			第4期計画期間						第5期計画期間					
			27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		令和2年度	
訪問系	居宅介護 重度訪問介護 同行援護 行動援護 重度障害者等包括支援	目標値	11,538	(435)	11,776	(444)	12,015	(453)	11,664	(432)	11,718	(434)	11,772	(436)
		実績値	11,536	(437)	11,556	(426)	11,416	(430)	11,896	(462)	12,229	(438)	11,124	(418)
		達成率	100.0%	(100.5%)	98.1%	(95.9%)	95.0%	(94.9%)	102.0%	(106.9%)	104.4%	(100.9%)	94.5%	(95.9%)

項目			27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		令和2年度	
	居宅介護	実績値	6,907	(315)	6,945	(315)	6,547	(311)	6,840	(324)	6,663	(300)	6,165	(289)
	重度訪問介護	実績値	2,345	(11)	2,495	(12)	2,676	(12)	2,593	(12)	3,170	(13)	3,078	(13)
	同行援護	実績値	2,036	(95)	1,953	(87)	1,947	(94)	2,008	(93)	1,945	(96)	1,528	(92)
	行動援護	実績値	248	(16)	163	(12)	246	(13)	455	(33)	451	(29)	353	(24)
	重度障害者等包括支援	実績値	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)

※各年度の左欄はサービス量(1月あたりの時間数)、右欄は実利用者数(1月あたりの利用者数)

※各年度の実績値欄は平成27～31年度は3月、令和2年度は4月の利用実績値

(例: H30年度は、H31. 3月利用分/H31年度は、R2. 3月利用分)

【令和2年度までの傾向】

- ・『居宅介護』は、年度によって増減はあるが、利用時間数、実利用者数ともに、概ね横ばいで推移している。
- ・『重度訪問介護』は、利用時間数は増加傾向にあるが、実利用者数はほぼ横ばいであり、1人あたりの利用時間が増加傾向にある。
- ・『同行援護』は、年度によって増減はあるが、利用時間数、実利用者数ともに、概ね横ばいで推移している。
- ・『行動援護』は、H29 - H30比較で、利用時間数が約1.8倍、実利用者数が約2.5倍の伸び率を示しており、その後も高水準で推移している。
- ・全体的に、令和2年度(4月)は、新型コロナウイルスの影響で、サービス利用を控えたケースが顕著で、利用時間数、実利用者数ともに大きく減少した。